

一般廃棄物の現況と推移(令和3年度実績)

1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 令和3年度の県内のごみの総排出量は808千トンで、県民1人1日当たりの排出量は976g/人日（前年度1g/人日減）でした。
- 平成16年以降減少傾向にあった総排出量及び1人1日当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響から大きく増加し、以降も毎年度減少傾向ではあるものの、高い水準で推移しています。

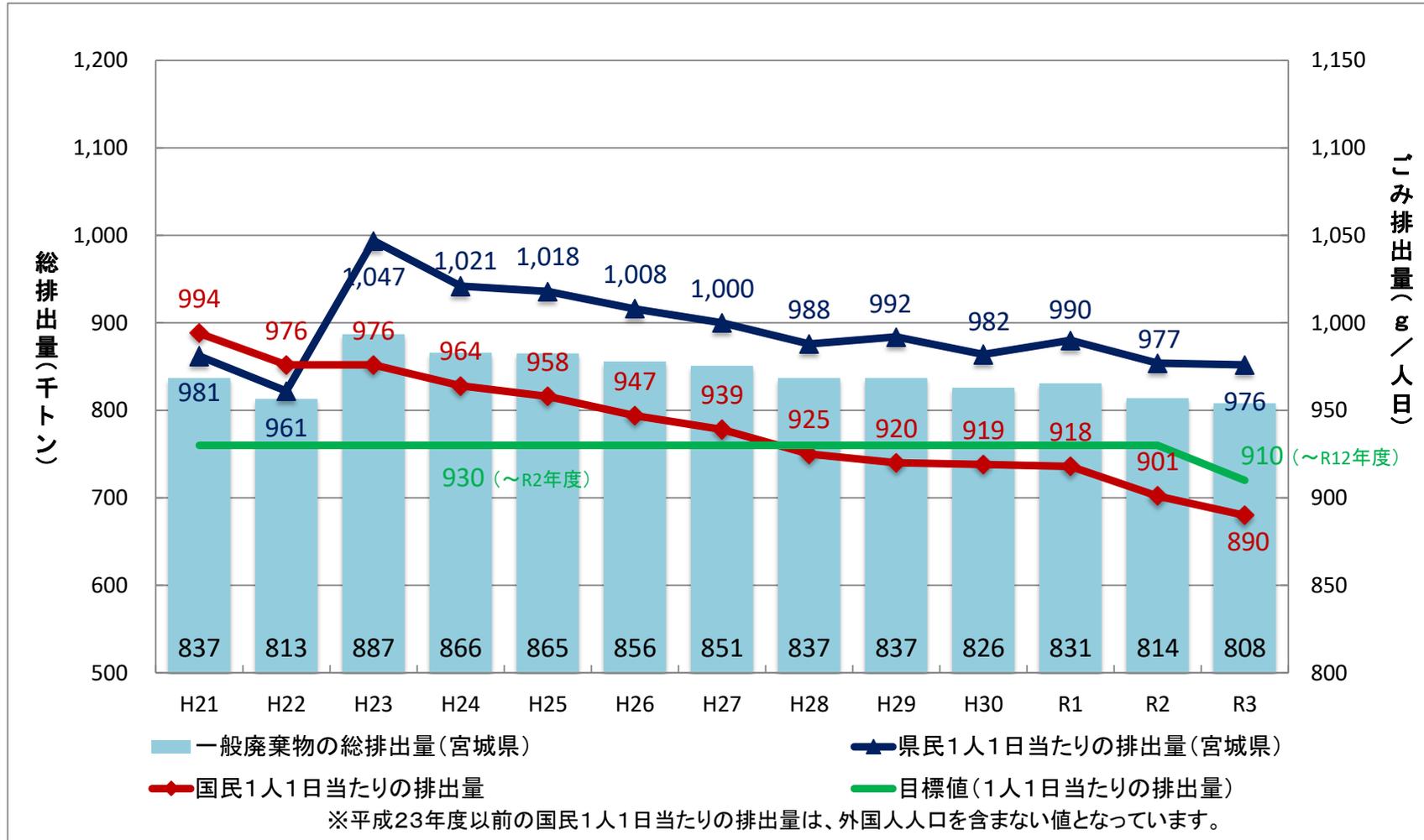


図1-1 ごみの総排出量の推移

○ 令和3年度の県民1人1日当たりの排出量は、生活系が690g/人日（前年度6g/人日減）、事業系が285g/人日（前年度4g/人日増）でした。

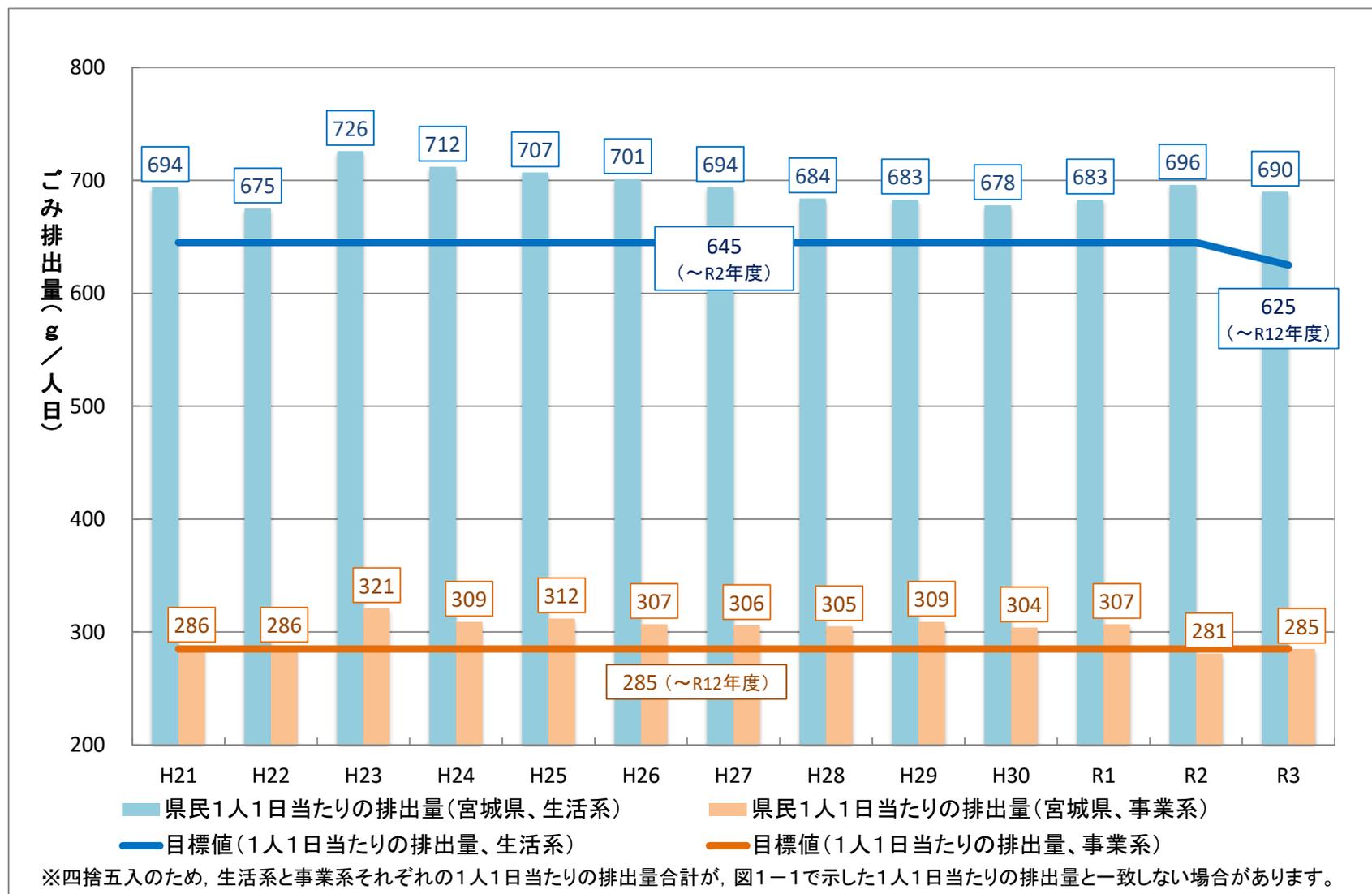


図1-2 1人1日当たりの排出量の推移

2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

- 令和3年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は127千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（91千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、24.3%でした。

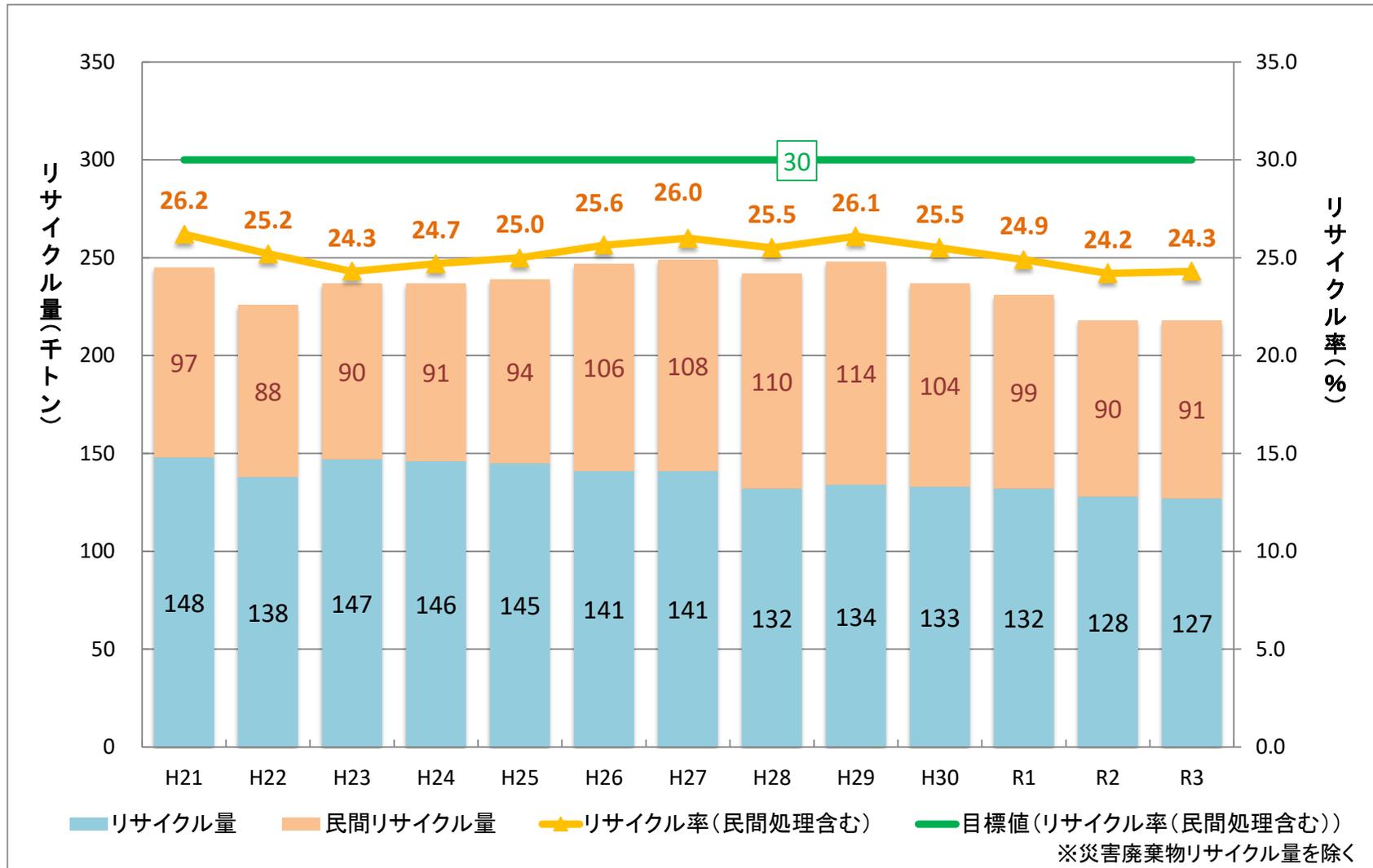


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除く再資源化量は127千トン、リサイクル率は15.7%で、昨年度と同程度です。また、リサイクル率は全国平均と比べると大きく下回っています。

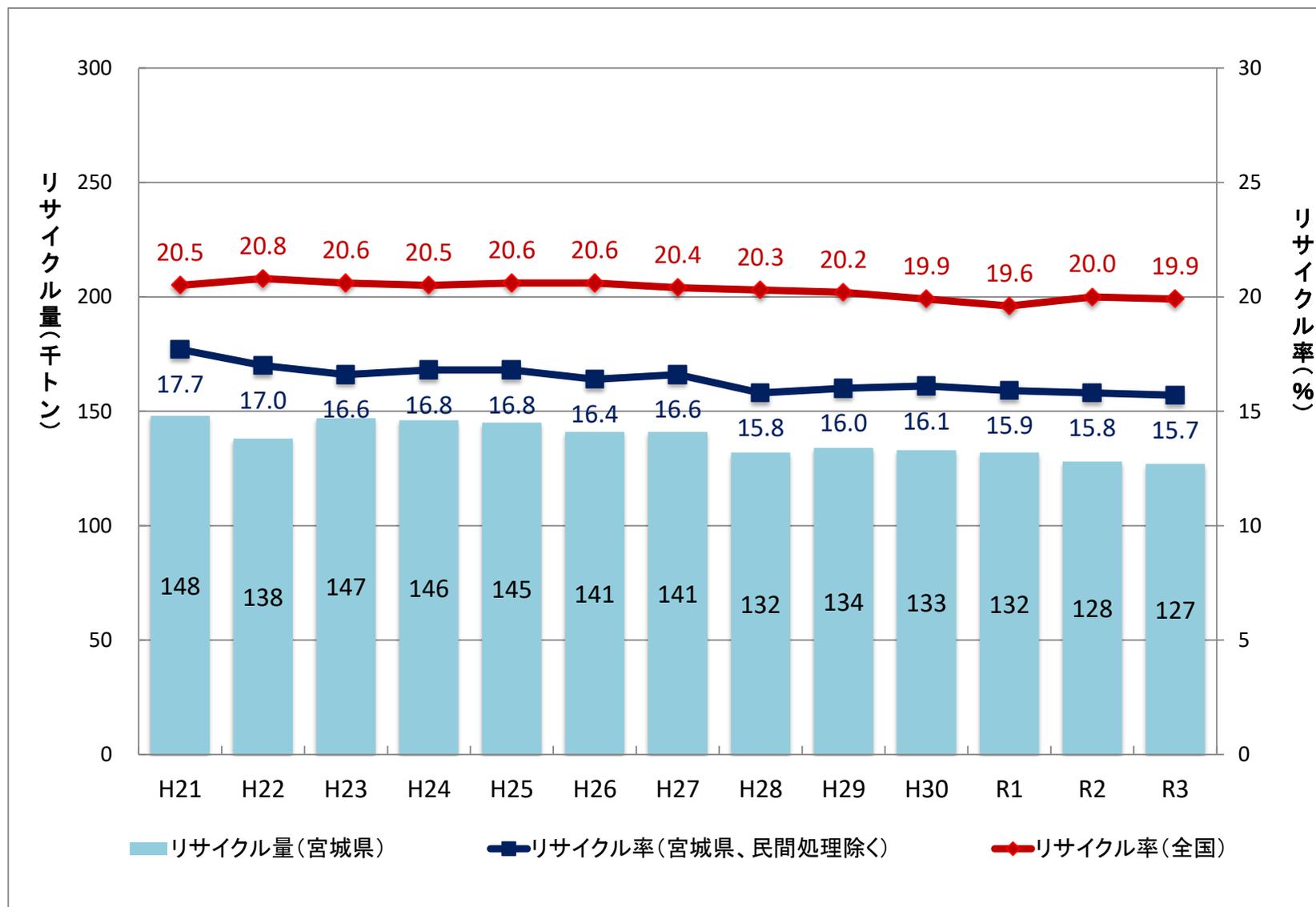


図2-2 県と国のリサイクル率の比較

3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

○ 令和3年度に埋立場へ最終処分されたごみは92千トンで、令和2年度より減少しました。最終処分率についても、令和2年度より減少していますが、目標は未達成です。

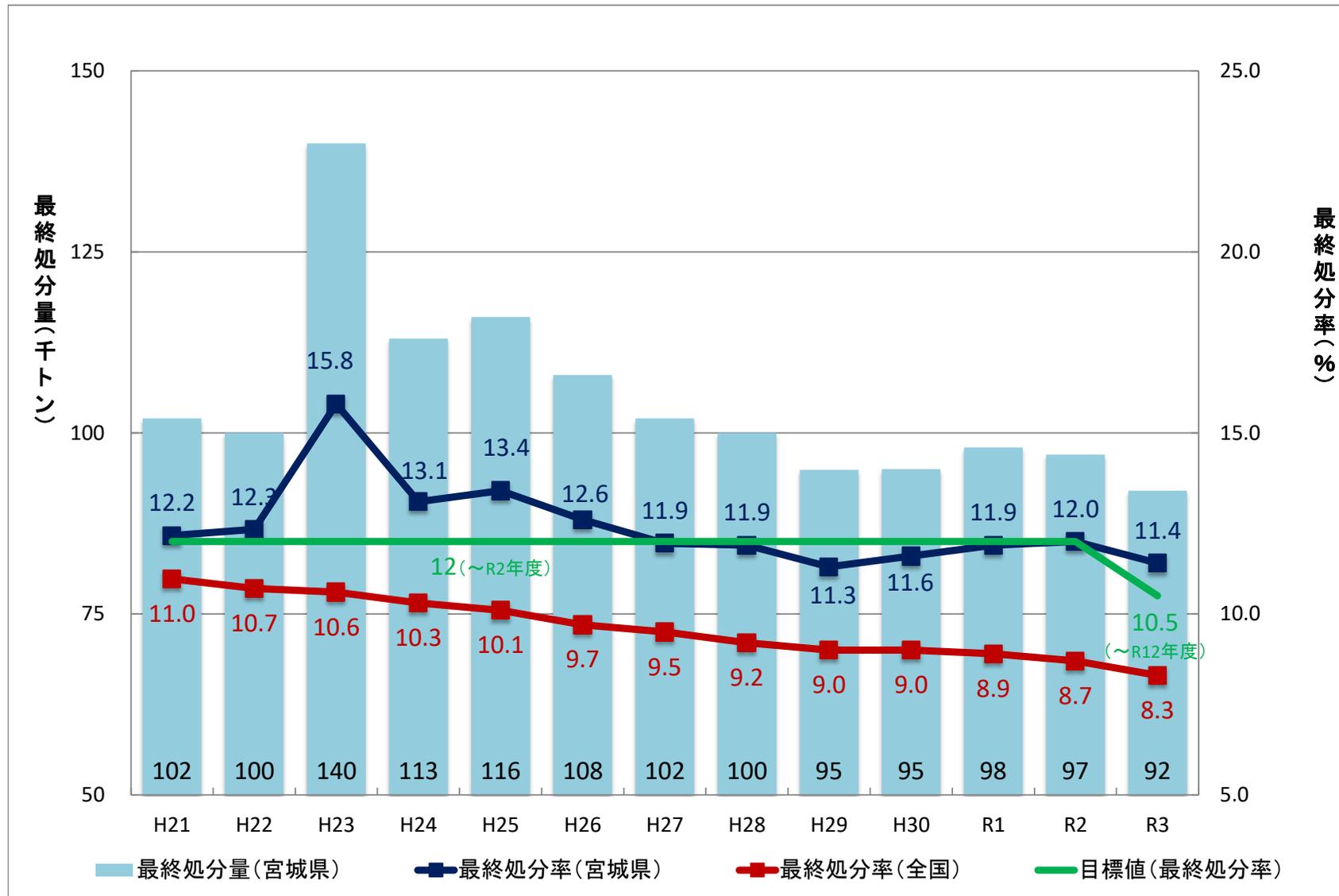


図3 最終処分量及び最終処分率の推移